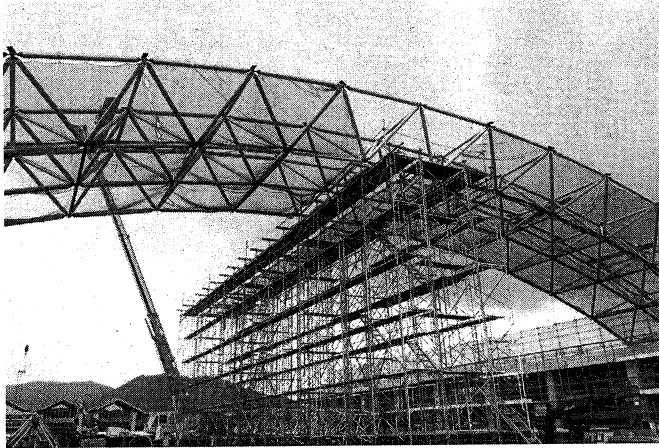


# 鉄の技術、木造に活用

## 接合部に鉄鋼部材 トラス構造を実現

JFEシビル(本社||東京都台東区、藤井善英社長の木造スペー  
スフレーム「KIT-KIT Truss(KT木トラス)」を使い、兵庫県  
福崎町の木造の多目的ドーム建設が進められている。接合部に鉄の  
部材を使用することで、木材のトラス構造を実現。政府や地方自治体  
は公共建築物について木材利用を促進しており、鉄の技術も新たな  
側面で活用されている。

### JFEシビル



鉄の強くてしなやかな性質と木材の利点を融合

「力の集中する部材で鉄を使う。接合部をどうするかポイント(上西正宏・システム建築事業部バイス営業部長)。鉄の強くてしなやかな性質と木材の利点を融合させる。KT木トラスは森林経済工学研究所との共同開発製品。2013年6月に国際確認検査センターの技術証明を取得している。ヒノキ、スギ、カラマツの木材に対応する。

今回の多目的ドームでは、トラス部材として1744本を使用。兵庫県産材のヒノキを使っており、昨年11月

から木材の材料手配を進めていた。

2010年に公共建築物の木材利用促進に関する法律が制定された。林業の活性化による、森林の適正な整備、自給率の向上に寄与することを目的とする。木材利用ポイントや地方自治体では補助金などの制度もあり、国産木材の普及が進んでいる。木材の耐火性なども向上しており、低層建築物を中心に広がりを見せている。